

事業番号	05 07 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	がん対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課	
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippei @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・本県のがんの75歳未満年齢調整死亡率は人口10万人あたり57.6（2020年）となっており、全国一低い値である。しかし、がんは2021年の県民の死亡原因の24.1%を占め、死亡原因の第1位である。

・本県では、2019年に新たにがんと診断された数は16,511例であり、日本人が一生のうちにがんと診断される確率は2人に1人である。また、がんの5年生存率は早期発見の場合は部位によっては9割以上である一方、進行後発見の場合は1割にも満たない部位もある。

### 2 事業目的

- 多くの県民ががんを予防することにより、避けられるがんを防ぎ、がん罹患者を減少させる
- 多くの県民が適切ながん検診を受診し、がんを早期に発見する
- がん診療の地域格差を無くし、質の高いがん医療を提供する
- がん患者が尊厳をもって安心して暮らせる社会を構築する

### 3 事業目的を達成するための取組

**①がん予防、がん早期発見に向けた情報発信、関係機関への助言**

- 県民のがん予防に対する意識の向上、がん検診受診率の向上のため、啓発活動を実施
- 県民が適切ながん検診を受診できるよう、市町村や検診機関に対し、がん検診の精度管理を実施

**②がん診療体制の整備・充実**

- 地域格差を無くすために、全二次医療圏に整備したがん診療連携拠点病院等へ運営費等の補助や機能評価を実施
- がん診療を行う医療施設として必要な施設、設備の整備に対して補助

**③がんになっても尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築**

- がん診療連携拠点病院等において、がん治療・療養生活等に関する相談体制、適切な緩和ケアを提供
- 治療と仕事の両立支援のために、社会保険労務士による相談の機会を提供
- がん患者の社会参加の促進のため、ウィッグ等の外見の変化を補整する器具の購入費用を助成

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	がん検診チェックリストの市町村実施率	%	66.9	↗	71.0	↗	69.7	↘	67.5	達成	市町村において、適切な精度管理が実施されているのか把握し、改善を目指す（長野県がん対策推進計画で2016年：67.5%→2023年：現状以上と目標設定）
②	がん診療連携拠点病院等の機能評価	病院	0	↗	1	↗	2	↗	2	達成	令和2～3年度と新型コロナの影響で実施できない年があり、令和4年度はWebを活用しコロナ禍においても可能な方法を試行、令和5年度は前年度から1病院増加を目指す。
③	緩和ケア研修会の受講者数	人	2,852	↗	3,046	↗	3,256	↗	3,150	達成	長野県がん対策推進計画の計画期間最終年度（2023年度）における目標値（2,500人以上）は達成済のため、新たに令和3年度実績の約10%増を目標値として設定

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5①	健康づくりの推進											
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築											

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	6,252	196,768	4,300	207,320	85,833	179,857	2.6
R4年度	16,602	195,556	8,970	221,128	82,270	193,559	2.2
R3年度	0	192,687	2,734	195,421	76,720	153,093	2.2

事業番号	05 07 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	がん対策推進事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

## 7 主な取組実績と成果

<p><b>①がん予防、がん早期発見に向けた情報発信、関係機関への助言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がんと向き合う週間」において、親子向けイベント「がんを知る教室」の開催（来場者1,616名）、学生と協働し子宮頸がん啓発動画の作成しWEB広告を出稿（表示数403,874）するなど、長野県がん対策推進企業等連携協定の締結企業等と協働し、がん検診受診率向上に向けた取組を行った。</li> <li>・がんの予防やがん検診等に関する研修会を、保健所において4回開催、動画によるオンラインで5回開催し、総数で258名が受講した。</li> <li>・市町村のがん検診の実施状況について、がん検診に携わる医師等により構成するがん検診検討委員会等を通じて分析し、問題点や改善策を市町村担当者会議により、フィードバックした。</li> </ul>	
<p><b>②がん診療体制の整備・充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての二次医療圏に整備したがん診療連携拠点病院等（11病院）の運営費等へ補助し、がん診療体制の整備に努めた。</li> <li>・がん診療体制の充実に向け、がん診療連携拠点病院等の指定要件の充足状況や診療機能の評価を行う「機能評価」を、佐久総合病院佐久医療センターと相澤病院の2病院で実施した。</li> <li>・がん診療体制の充実に向け、がん診療を行う医療施設として必要な設備整備に対する補助を8病院に対して行った。</li> </ul>	
<p><b>③がんになっても尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん治療・療養生活等に関する相談体制の整備のため、がん診療連携拠点病院等に設置されているがん相談支援センターの運営費の補助や、適切な緩和ケアのための緩和ケア研修会（210名受講）を医療機関と連携し実施した。</li> <li>・治療と仕事の両立支援のために、11病院のがん相談支援センターへ社会保険労務士を派遣し、93名の相談対応を行った。</li> <li>・がんの治療に伴う外見の変容が、がん患者の社会参加の妨げとなる場合もあることから、ウィッグや乳房パッドなど、外見の変容に対する補整具等の購入費用の一部助成を市町村と共同で実施した（助成件数681件）。</li> </ul>	

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	がん検診チェックリストの市町村実施率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	達成
市町村のチェックリストの未達成項目について、がん検診検討委員会等を通じて分析し、改善策等を市町村担当者会議により、フィードバックをしてきたこと等により目標を達成。							
指標②	がん診療連携拠点病院等の機能評価	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
感染症（新型コロナや季節性インフルエンザ）を考慮し、現地調査者を少なくし、Webを活用したピアレビュー（各拠点病院関係者による相互評価）を実施する方法により、予定どおりの2病院で機能評価が実施できた。							
指標③	緩和ケア研修会の受講者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
がん診療連携拠点病院等との連携により緩和ケア研修会の受講者数は目標値を上回る状況であり、引き続き緩和ケア研修会を開催するとともに、がん患者の療養生活の質の向上のための「緩和ケア」に関する周知活動を行う。							

## 9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かねてより「がんと向き合う週間」等に合わせ、がん検診受診率の向上に取り組んできており、目標としてきた50%を達成したがん種もあったことから、第3期信州保健医療総合計画においては、目標値を60%へ変更。今後この目標達成に向け更なる取組が必要。</li> <li>・市町村が適切ながん検診を実施するよう、問題点や課題について、改善に向けた着実な取組が必要。</li> <li>・県民が住む場所に関わらず適切な医療を受けることができるよう、各圏域において、がん診療連携拠点病院等を中心としたがん診療体制を維持、充実していく必要がある。</li> <li>・2人1人ががんに罹患し、がん患者の4人に1人が35～64歳の働く世代であること等から、罹患後の相談支援や就労支援、社会参加への支援を継続していく必要がある。</li> </ul>
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率の向上に向け、企業等と連携して、工夫した啓発企画を実施する。</li> <li>・市町村が適切ながん検診を実施するために必要な「がん検診の精密検査実施医療機関の一覧」について、市町村だけでは作成が難しいことから、県医師会と連携し作成する。</li> <li>・がん診療体制の充実に向け、がん診療連携拠点病院等の運営費等の補助や機能評価を継続していく。</li> <li>・相談支援体制の充実に向けた施策をがん診療連携拠点病院等と検討していく。</li> <li>・治療と仕事の両立支援に向けた就労相談の実施、ピアランスケア助成等を継続していく。</li> </ul>

事業名	がん対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
-----	----------	----	-------	-----	----------

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
1	がん予防推進事業	8,992 千円	10,120 千円	14,286 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	がん検診普及啓発事業	直接委託	・がん予防やがん検診の受診行動を促す啓発活動を実施 がんと向き合う週間における啓発イベント等を1回実施	
2	がん検診精度管理事業	直接	・市町村が実施するがん検診の精度管理に関して専門的助言・情報提供を行う会議の開催 会議を1回開催	
3	がん医療提供体制人材育成事業	補助金	・がん検診に従事する医療従事者に対する研修会開催等に要する経費に対して補助 研修会開催（1回）への補助を実施	
4	がん登録推進事業	直接委託	・県内のがん罹患情報を収集（委託先：信州大学医学部附属病院） ・がん登録情報の利活用等に向けた委員会及び審査会を開催 委員会を1回開催、審査会を1回開催	
5	生活習慣病疫学調査研究事業	直接	・がん予防を含む健康の維持増進を目的とした地域生活習慣調査及び生活習慣と疫病発症の関連調査、分析 次世代多目的コホート研究の追跡調査を1回実施	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
2	がん対策総合推進事業（医療）	144,101 千円	183,439 千円	165,571 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	がん診療連携拠点病院等整備事業	直接補助金	・がん診療連携拠点病院等の機能評価や検討を行う県がん診療連携拠点病院整備検討委員会の設置 ・がん診療連携拠点病院等が行う診療機能の維持・向上に向けた取組に対する補助 委員会を1回開催、機能評価2病院で実施、11の拠点病院等へ補助を実施	
2	がん医療提供体制施設設備整備事業	補助金	・がん診療を行う医療施設として必要な施設、設備の整備に対する補助 医療機関3施設へ補助を実施（1施設令和6年度へ繰越）	
3	がん診療施設設備整備事業	補助金	・がん医療提供体制が弱い二次医療圏における、標準的がん診療を行う医療機関への施設、設備の整備に対する補助 医療機関5施設へ補助を実施	
4	がん対策推進協議会	直接	・総合的ながん対策の推進に関して検討を行う会議の開催 会議を1回開催	
5	がん患者への就労支援推進事業	直接	・がん相談支援センターで両立支援・就労相談支援等を行う社会保険労務士の派遣 相談件数：93件	
6	がん先進医療費利子補給事業	補助金	・がんの先進医療を受けるために金融機関から融資を受けたがん患者及びその家族に対する当該融資に係る利子相当分の補助 補助件数：既承認者2名	
7	がん患者へのアピランスケア助成事業	補助金	・がん患者の社会参加の推進のためのウィッグ等の購入費用に対する市町村助成金の一部補助 補助件数：46市町村（681件）に補助を実施	
8	小児・AYA世代がん患者等妊孕性温存治療費助成事業	直接	・小児・AYA世代（※1）のがん患者等に対し、妊孕性温存療法（※2）及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成 ※1 思春期および若年成人世代のこと ※2 がん治療の前に卵子や精子、受精卵等の凍結保存を行う治療のこと 妊孕性温存療法助成件数17件、温存後生殖補助医療助成件数7件	